

未来をともに創る

～地域の活力向上に、広い視野で取り組みます～

国内最大級ガラスハウスに事業性評価で融資 「守山バラ」で地方創生を目指す！

クニエダ株式会社(守山市) —— オランダ製 ガラスハウス栽培

全面ガラス張りのオランダ製巨大ハウスは、18,720㎡と国内最大級。世界最先端のシステムで温度、気圧、日照量などを制御し、年間を通じて高品質のバラが栽培できます。現在の5倍、年間400万本の生産を見込んでいます。当行は計画段階からサポート。ハウス建築資金は、行政や地元金融機関とも連携しつつ、事業の将来性や成長可能性を見極める「事業性評価」で融資に取り組みました。今後、バラの花を使った化粧品など6次産業化も検討されており、「守山バラ」のブランド化による地方創生に期待が集まっています。

事業性評価とは？

財務データや担保・保証に必要以上に依存することなく、取引先企業の事業内容や成長可能性などを適切に評価すること。経営理念や、経営の強み・弱み、また将来に対するビジョンや行動計画などを含めた多面的な視点で、お取引先の実態把握を行います。

～農業の事業性評価の新基軸～

「GAP」認証の普及拡大をサポート！



農産物の信頼確保につながり、大手スーパーなどが食材を調達する際の基準ともされる、第3者認証「GAP」。当行は、GAP認証取得支援を目的として、4月28日、西日本旅客鉄道株式会社ならびに株式会社ファーム・アライアンス・マネジメントと業務協力に関する協定を締結しました。あわせて、同認証を取得された生産者を対象とした融資商品「本業支援サポートローン」『GAP

認証者サポートプラン』の取り扱いを開始。持続可能な「農業」の普及と、地域農業の発展を通じた地域活性化を目指してまいります。



GAP (Good Agricultural Practice) : 農業生産工程管理とは？

農業生産活動の持続性を確保するため、食品安全、環境保全、労働安全に関する法令等を遵守するための点検項目を定め、その実施、記録、点検、評価を繰り返し、生産工程の管理や改善を行うこと。